

話をしている状況等を目撃した各議員の証言内容 No.1

区 分		A 議員	B 議員	C 議員	D 議員	E 議員	F 議員
位置 関係	証言議員の 場所	吉江議員の自席の後方→ 議場出入口	吉江議員の自席の右横(壁側)→ 議場出入口→ 議場の外	自席→ 議場出入口	最前列から2列目の途中、この通行中(望月議員のあたり)右手方向	太田議員の席の横の壁沿い	二人の後方
	上條洋幹議員の 場所	吉江議員の自席の後方	吉江議員の自席に近づく	吉江議員の自席に「吉江君、ちょっと話をしようや」と近づく→ 議場出入口	吉江議員の自席の左後ろ	吉江議員の自席付近	吉江議員の自席の後方→ 議場出入口
	吉江議員の 場所	自席にいたかどうかは はっきりしない	自席から1、2歩移動、 帰ろうとしているように 見えた	(自席から)足早に議場を 出ようとした	自席(立っていた)	自席付近	自席で立って風呂敷に 書類を包んでいた→ 議場出入口
目撃	行為のあった 場所	(見ていない)	声をかけたとき間に一人 いたため、手が届かなか ったのは目撃	上條議員は手を伸ばし ふれようとした	(見ていない)	(見ていない)	触れたかどうか記憶に ない
	触った身体 の場所	(見ていない)	触れた現場は見 ていない	触った瞬間は 見ていない	(見ていない)	(見ていない)	触れたかどうか記憶 にない
	触った強さ	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	触れたかどうか記憶 にない
	触った状況	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	(見ていない)	触れたかどうか記憶 にない
内容		上條議員が「吉江議員」と 手を挙げて呼んでいま した	上條議員から声をかけられ、 吉江議員は間違いなく向 いたここ(議場出入口)か ら出た段階で、ドアを挟 んで、大きな声をした	吉江議員は足早に議場を 出ようとし、上條議員が 追いかけた追いかける とき触れる行為は見てい ない襲ったというふうには 受け止めていない	普通の問いかけをされて いる襲ったという認識は ないその後、大きな声で やりとりをしていた	何かもめているのを見た。	吉江議員が「さわらないで 下さい」と3回叫んだ記憶 はある。吉江議員が先に 議場を出ていき、上條議 員が後からいくら離れて 出ていくのは見た。
	その他の状況		「さわらないで下さい」と いうそういう大きな声 が外に聞こえてきた		確かではないが、吉江議員 「何で私が行かなくちゃ いけないんですか」「や めてください」		

身体への接触を目撃した各議員の証言内容

№2

区分	G 議員	H 議員	I 議員	J 議員	K 議員	L 議員	M 議員	
位置 関係	証言議員の場所	自席	自席	自席→議場出入口→吉江議員の控室前	自席→議場出入口→吉江議員の控室前	自席→吉江議員の自席横の壁側通路	太田議員の自席の横付近	議場を出たところ、吉江議員の控室の左側後方、横
	上條洋幹議員の場所	吉江議員の自席のそばへ行った→議場出入口	吉江議員の自席の後方	吉江議員の自席の後方→議場出入口→吉江議員の控室前	吉江議員の自席の後方→議場出入口→吉江議員の控室前	吉江議員の自席の後方	吉江議員の自席の後方	吉江議員の控室の手前
	吉江議員の場所	自席→議場出入口	自席立ち去ろうとしていた立ったところくらい	自席→議場出入口→吉江議員の控室	自席立って風呂敷で書類を包んでいた→議場出入口→吉江議員の控室	自席	自席	吉江議員の控室の手前
目撃 内容	行為のあった場所	吉江議員の自席	吉江議員の自席の近く(立ったところくらい)	吉江議員の自席	(どこの場所で触ったかは)記憶が定かでない	吉江議員の自席	吉江議員の自席	吉江議員の控室の手前
	触った身体の場所	肩	左肩	左肩の下=背中の部分	左の肩の辺特定できない	肩甲骨のあたり	肩	肩
	触った強さ	肩に触れたように見えた	軽くポンポンと触った	トントントンと2~3回ぐらい手をふれた 吉江議員「さわらないでください」と3回言う	手をかけたように見えた 手が触れるか触れないか 多分触れた	手を伸ばして、2、3回触れた	触ったあるいは触れた 襲ったとは思わない。(1月6日)	ちよつと手を触る 軽く、ちよつちよつとふれる
	触った状況	襲ったようには見えなかった	上條議員から吉江議員へ何か話し掛けていた	上條議員から吉江議員へ呼びかけの後	上條議員から吉江議員へ話し掛けていた	上條議員は手を伸ばして「吉江さん」というふうに呼びかける格好が見えた	上條議員から吉江議員と話しをしたとして話し掛けがあった	何か上條議員が肩にちよつと手をさわった
	その他の状況	吉江議員は「さわらないでください」と2、3回言った それから出て行ってその後を上條議員が追いかける議場外は目撃していない	吉江議員が立ち去ろうとしていたところを引き止めるというか気づいてくれという感じ	それから後(吉江議員の控室までの間)上條洋幹議員「話しをしようじゃないか」「そうは言っても、話をしてもいいじゃないか」吉江議員「時間がない、忙しい」「忙しいからだめです」「さわらないでください」これだけのやり取りだった。それ以外のことはなかった。その後手をささなかつた一部始終をしつかり見た	吉江議員の後を上條議員で、その後私が左後ろの方からついていった。 議場の出入口を出た位の所で、吉江議員は襲われたという表情をして、一度倒れこむような行為をした 何を大げさにと 思った 襲ったというのは予想外の言葉	上條議員の「地元代表議員として、というなら」と言う言葉を聞いた。	「上條議員と話したくありません。私忙しいから」という発言があった。(1月6日)	吉江議員何か、「やめてください」とかい